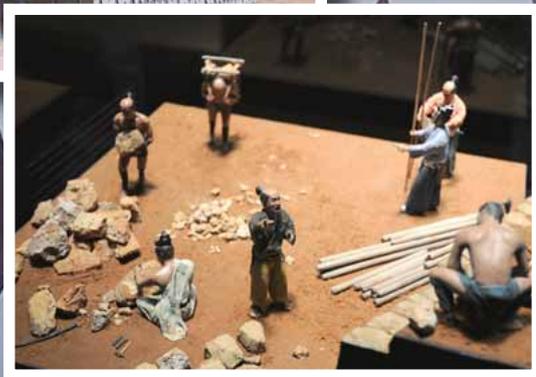
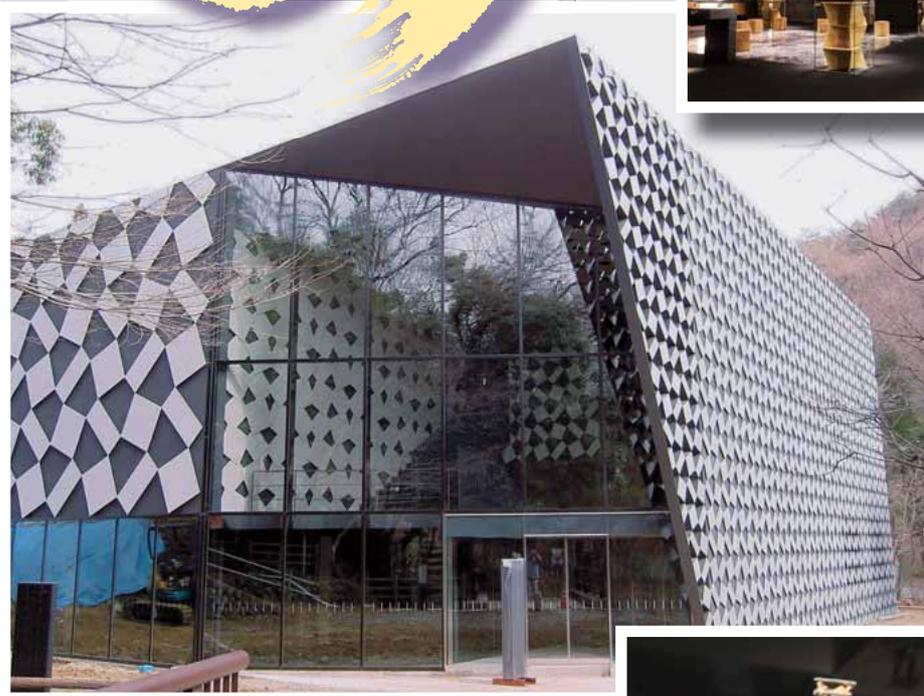


文化財 だより

NO. 7

発行 ● 太田市教育委員会 発行年月日 ● 平成21年3月31日 編集 ● 太田市教育委員会文化財課
住所 ● 群馬県太田市粕川町520 電話 ● 0276-20-7090 FAX ● 0276-52-6080

いよいよ
OPEN!



史跡金山城跡ガイドンス施設
金山地域交流センター

平成21年3月に史跡金山城跡ガイドンス施設
金山地域交流センターの建物が完成しました。
周囲の工事整備の完了を待ってオープンとなります。



史跡 金山城跡 の最新情報



金山城跡確認調査（太田口周辺）



- 調査場所 太田市金山町
- 調査期間 平成20年8月18日～
平成21年3月25日

平成20年度の確認調査は、前年度に確認した石の採掘によってできた平坦地（土屋敷伝承地）の北側斜面を登って行く少しへこんだ道を中心に実施されました。調査前は、木材を切り出した時に使われていた道かと思われていましたが、その断面調査を行ったことで、排水を考慮し、路肩（登りに対して左側）に石を積んで道として利用していたことがわかってきました。また、調査地点からは、お茶に使う天目茶碗の破片や火鉢の破片、古銭なども出土しました。このようなことから比較的長期にわたって利用されていたと思われます。

今後この道がどこへ向かっているのか、また、道に接する平坦地には遺構があるのか課題となりました。



県道わきの平坦地で見つかった石敷き通路



道路の中央部が掘りこまれている様子



①



②



③

- ① 白色系の天目茶碗（極めてめずらしい）
- ② 天目茶碗
- ③ 雷文の入った火鉢の破片



道路中央部に埋められた石敷き

※斜面で確認されていた道の下を掘り込んでみると、太田口寄り（県道寄り）では、道路の中央部分を溝状に掘削している場所が確認され、そのくぼんだ部分に大きな石が埋められ、その間に細かい石が詰まっていました。発掘調査中、雨上がりの翌日には、この道の下の方で水が噴き出していたため、排水を考えて造られた道であることがわかってきました。



平成20年度 史跡金山城跡整備事業（補助事業）



モータープールから見た西城広場



北の実城へと続くカラー舗装の園路

平成20年度史跡金山城跡整備事業は、西城の広場整備と南土塁の盛り土整備工事を行いました。

曲輪内と周辺の工事に際しては、曲輪内にある樹木を、植栽管理方法に基づき、剪定・伐採及び草刈を実施し、平坦部にはウッドチップを均等に敷いて、表土の流出防止を図りました。また、曲輪内の園路には砂利を敷き、実城やぐんまこどもの国へつながるハイキング道には透水性のカラー舗装を行いました。これによって、通路の表面の洗掘を防ぐとともに、通路の両側にリュウノヒゲを植栽することで崩落等の防止を図りました。

南土塁については、土塁全体に表土の流出と樹根の露出が見られ、地表面は踏まれて固まっていたため、植物が育ちにくく、表土の流出が進んで遺構面への侵食が心配されていました。そのため、今年度は土塁の形状復元ではなく、あくまで遺構の保護を目的とした工事を実施しました。工事の概要は次のとおり

です。

- ①遺構面に影響を与えている傾斜部の樹木、および倒木のおそれのある危険木の伐採。
- ②現状面に沿った保護盛土。
- ③表土流出を防ぐための盛土と、野シバの植栽。

野シバが根付き、当面は土砂の流出を防ぐことができるようになります。日当たりの良い西城で、金山周辺の景色を一望できるようになりました。



盛土して土砂の流出を止めた南土塁（南から）



史跡金山城跡ガイダンス施設

上空から見た金山

金山を中心とした航空写真を4.5m×4.5mの大きさに床の上に展示してあります。建物の名前や地図記号がしるされていますので、歩いてきた道や知っている場所を探してみましょう。

戦国シアター

金山城の歴史を5分間の映像で紹介します。映写時間以外には市内にある史跡新田荘遺跡を映像で紹介しています。



金山情報サロン

金山に関連する図書を閲覧したり、発掘調査の情報が見られます。また、各地の山城関係の情報や資料も見られます。

金山城なぜ・なるほど

発掘調査の展示の前には石垣の形をした金山城の「なぜ・なるほど」が置いてあります。あなたは12問の疑問にどれだけ答えられるでしょうか。

城ナビ

パソコンを使って金山城の上空を飛びまわり、気に入った所へ着陸すると、今や昔の金山の様子が見られます。いろいろためしてみてください。

四季の宝箱

四季おりおりの金山の自然について、その時々でなければ見られない姿をちょっとのぞいてみませんか。

フィールド情報（金山を歩こう）

金山を周遊される方々がコースを決めたり、確認したりする際に役立つようなルート情報や周遊時間等を提供します。また、みなさまからの新着情報も提示します。

史跡金山城跡ガイダンス施設では、金山城の歴史についてできるだけわかりやすく展示しています。お城の歴史的な流れを4つの場面に分けてジオラマを配置したり壁面展示を行い、発掘調査の様子やその結果わかったことなどをまとめてあります。映像としては、金山城の歴史を大スクリーンで映写したり、モニター画面とコントローラーを使って金山の上空を周回し、着地してその周辺の探索などができる「城ナビ」など、親しみやすい工夫がされています。床面には上空から写した金山周辺の写真を表示したり、「なぜ・なるほど」のコーナーでは、金山城の不思議が語られています。



床面で見ることができる写真地図



場面を想定したジオラマ



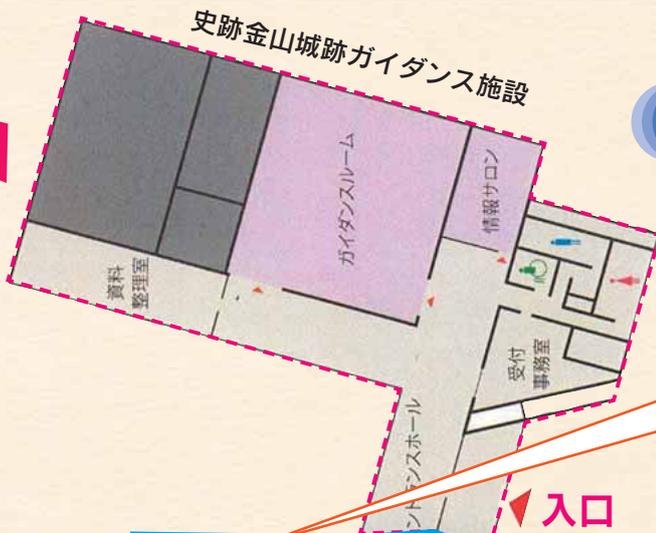
上空を飛びまわれる「城ナビ」



壁面展示（歴史と発掘・遺物）



史跡金山城跡ガイド施設は、金山城のことを詳しく紹介し、興味関心を持ってもらう「歴史学習の場」として、また自然やハイキング等で親しめる「憩いの場」として建設されました。現在も残されている当時の石積みや堀切、曲輪などを、整備した金山城といっしょに見て回れるような順路案内や自然についても調べられる金山情報サロンなどが用意してあります。また、この施設は南側に金山地域交流センターが併設されているため、学習室やコミュニティルーム・ギャラリーを利用して、文化財の保護・啓発・普及活動を実施したり、地域交流の場として利用できます。平成21年5月末の開館を目指しています。



金山地域交流センター

体験学習室1



年間を通して企画された体験学習（竹細工など）を実施したり、空いている場合は利用希望に応じて使うことができます。定員は20名ほどです。

体験学習室2

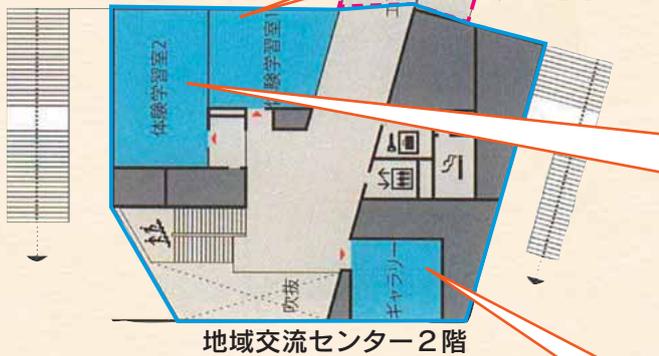


企画された体験学習（草木染・うどん・そば打ちなど）を実施します。利用希望に応じて使うことができます。（土足厳禁スリッパ使用）シンクは5台あり、電磁調理器が利用できます。
※環境のため天ぷら等の調理はできません。

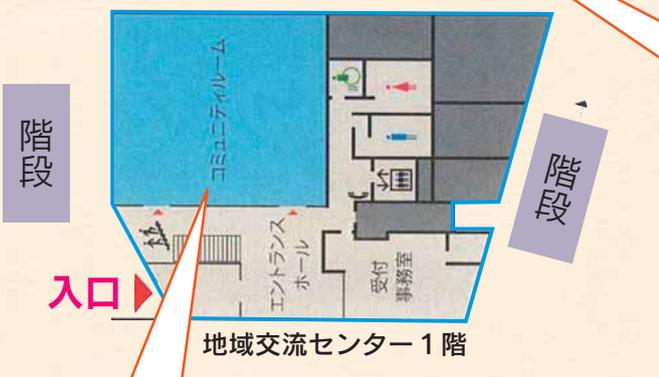
ギャラリー



定期的な企画展示を実施します。展示が空いている期間については利用申し込みをすることで展示を行うことができます。展示ケースやピクチャーレールなども設置されています。



地域交流センター2階



地域交流センター1階

コミュニティルーム



定期的な文化財の講演会等の会場として利用されるほか、個人や各種団体等の利用予約がない時は、休憩や談話等に自由に利用できます。定員は120名ほどです。





金山城跡こうゆうちかの公有地化



金山城跡は、昭和9年に国の史跡として18.3ヘクタールの範囲が指定されましたが、その後、平成14年に追加指定され、指定面積は約5倍の97.8ヘクタールに広がりました。この中には民有地が存在しており、城跡遺構群の保存管理と調査・整備の推進を図るため、現在、その公有地化を行っています。

平成20年度は0.3ヘクタールを公有地化し、これにより、公有地面積は約95.7ヘクタール、公有地化率97.8%となりました。引き続き平成21年度以降も公有地化を進め、史跡金山城跡の保護と整備・活用の一層の推進を図っていきます。



金山城保存会



平成15年に、金山城跡の歴史的景観を自分たちの手で維持しようと発足した「金山城保存会」は、平成20年度も復元整備を完了した箇所を中心に草むしりや清掃活動を行うとともに、今年度は景観保全に向けて樹木の剪定せんていを積極的に行いました。

また、来訪者が理解を深めるための案内や解説を行うとともに、生涯学習の一環として会員自身の学習向上も図っています。

今年度は28団体、約800人の方に金山城のガイドをしました。

今後も活動を継続するため会員を随時募集しています。皆さんも一緒に活動をしませんか。



日ノ池周辺の除草活動



来訪者のガイド



金山城跡来訪記念自由帳



金山城跡南曲輪休憩施設みなみぐるわには、金山城跡来訪の感想をつづっていただく自由帳が設置されております。

～自由帳から～

- ★ 日本100名城を制覇してやる！ (2008.5.4 男性)
- ★ Beautiful view, wonderful facility! (2008.9.3 男性)
- ★ 金沢から来ました。自然の山ですばらしかった。(2008.10.5 女性)
- ★ 東京から30年ぶりなつがしく登りました。すごくきれいになっていたの
でビックリしました。目がウルウルしてしまった。(2008.12.4 女性)
- ★ きょうは 山のほりをして 月ノいけ日ノいけ にいって たのしかった!!
(2009.1.4)





おおたんのふる里史跡探検スタンプラリー



平成20年7月28日「上野国新田郡庁跡」が新たに国史跡の指定を受け、注目をあびましたが、太田市には、こうした国指定史跡をはじめ多くの史跡・文化財があります。

郷土の先人たちが残したこれらの貴重な歴史的遺産を市民が正しく理解・認識し、また身近に感じてもらうため、太田市教育委員会主催による「おおたんのふる里史跡探検スタンプラリー」を実施しました。

平成20年7月22日から8月31日の夏休み期間を利用し、スタンプを設置した市内22箇所の文化財や資料館を、史跡探検ガイドマップを見ながらまわってもらうもので、今回は2年ぶりの実施となり、2,579名の参加申し込みがありました。

22箇所のうち17箇所以上のスタンプを押した修了認定者は1,717名で、記念品として特製クリアファイルを贈呈しました。

参加者の皆さんは、猛暑や豪雨等、天候にあまり恵まれない中、訪れる機会の少ない市内の文化財や資料館を巡ることで、ふるさと太田の歴史に対する理解を深めるとともに、家族や友人たちとのふれあう機会を作っていただけたようです。



スタンプラリーのぼり旗



記念品（クリアファイル）等



新たなスタンプ箱設置箇所（史跡上野国新田郡庁跡）



スタンプラリー参加者

《自由帳より》

- ・景色がチョーきれいだった。すごーい！（金山城跡）
- ・写真のような跡地を期待してたどり着いたら草だらけ。もう少しし何とかならないかな。（上野国新田郡庁跡）
- ・親子4人、自転車で全てまわりました。すごーい達成感！（高山彦九郎記念館）
- ・縁切寺は鎌倉ばかりと思っていた。こんな近くにあったとは。（縁切寺満徳寺資料館）
- ・わかりづらいところが多い。本当に宝探してみたいだ。（矢太神水源）



文化財講演会

- とき 平成21年2月8日(日)
午後1時30分
- ところ 社会教育総合センターホール
- 参加者 551名

全長210mの大前方後円墳、天神山古墳。太田市内ヶ島町には、「東日本最大の古墳」が存在します。

今年度はこの「天神山古墳」をテーマとして文化財講演会を開催いたしました。全国的にも著名な白石太一郎先生をお迎えした講演と天神山古墳に対する市民の関心の高さから、例年になく500名を越える多くの方にご参加いただきました。また当日において平成20年度、新たに作成した「天神山古墳リーフレット」を配布いたしました。

基調報告「天神山古墳と周辺の調査」

太田市における埋蔵文化財発掘調査の担当者である太田市文化財課の中村渉主任が基調報告をいたしました。天神山古墳だけでなく周辺の発掘状況など、多くの映像を用いながらお話することができ、参加者からご好評をいただきました。



基調報告をした中村渉主任



天神山古墳空撮

講演「太田天神山古墳の出現と歴史的意義」



講演していただいた白石太一郎先生

奈良大学文化財学科の教授である白石太一郎先生から、「天神山古墳の出現と意義」についてのお話を中心に、全国からみた天神山古墳についてご講演をいただきました。

特に、天神山古墳の築造時期が5世紀の初めに遡る可能性、同時期に全国で築造された古墳の規模としては5本の指に入る点、また天神山古墳の被葬者が畿内の大王と同盟関係にあった上毛野国の大首長である点をご指摘いただいたことなど誠に興味深いお話をいただきました。

古墳研究の第一人者である白石先生のご講演は、



講演中風景



講演会場内風景



講演会ポスター



豊富な知識を踏まえた絶妙な語り口による非常にわかりやすいお話であり、参加者も大変満足しておりました。

企画展示「記録された天神山古墳」

ホール入口前の1階ロビーにおいてパネルを基本とした天神山古墳関係資料の展示を行いました。江戸時代に描かれた天神山古墳や明治初期の地引絵図、昭和初期の実測図、戦後各年代の天神山古

墳の空撮などを展示いたしました。実物の展示資料としては、天神山古墳から出土した「水鳥形埴輪」や「円筒埴輪」のほか、天神山古墳の石棺が描かれた江戸時代の文書『石棺御尋聞書』なども併せて展示いたしました。



展示風景



江戸時代に描かれた天神山古墳の石棺



天神山古墳「水鳥形埴輪」(頭部のみ出土)



文化財めぐり



- テーマ 栃木の歴史をめぐる旅
- とき 平成20年11月30日(日)
- ところ 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館・とちぎ山車会館・大中寺 ほか

今回は、「栃木の歴史をめぐる旅」をテーマとし、下野市、栃木市、大平町の文化財を見学しました。

下野市にある栃木県立しもつけ風土記の丘資料館では企画展「終末期古墳と官衙の成立」が開催中で、太田市の天良七堂遺跡などの出土遺物も展



上杉謙信ゆかりの名刹 大中寺



とちぎ山車会館の前で

示されていたことから、参加者は職員の解説を熱心に聞いていました。

栃木市では、とちぎ山車会館に展示された勇壮な山車の姿や、周辺の美しい蔵の街並みに一同感嘆の声をあげていました。

七不思議の伝説が伝えられる大平町の大中寺では、ボランティアガイドの方の巧みな語り口に一時物語の世界に引き込まれました。

天候にも恵まれ、多様な歴史・文化に触れた充実した一日となりました。



しせきこうずけのくににたぐんちようあと
史跡上野国新田郡庁跡



- 調査場所 太田市天良町地内
- 調査期間 平成20年11月25日～平成21年2月23日
- 調査面積 約690㎡

郡庁の中央部の調査を行ったところ、1号礎石建物跡の礎石が置かれた場所が確認され、この配置から、1号礎石建物が正殿であったことが明らかになりました。1号礎石建物跡の下をていねいに調査したところ、さらに古い掘立柱建物跡の正殿があることがわかりました。この結果、正殿は掘立柱建物から礎石建物に建て替えられていることが明らかになりました。

正殿の南約15mでは、径5～20cmの川原石を無数に敷いた石敷き通路が新たに発見されました。通路は、西半部が壊されていましたが、石の列があることから郡庁の南から正殿の中心部分に向かっていくことがわかりました。



石敷き通路（南から）



てんらしちどういせき
天良七堂遺跡（国史跡指定地の西部）



- 調査場所 太田市新田小金井町地内
- 調査期間 平成20年11月6日～平成21年2月23日
- 調査面積 約1810㎡

4棟の礎石建物跡(5～8号)が発見されました。これはいずれも総柱の構造であることから、郡衙に納められた米を蓄えた高床式の倉の跡(正倉)であったことがわかります。5号は6.3×9m、6号、8号は7.2×10.5m、7号は8×10.5mの大きさで、いずれも一般の集落の倉庫よりはるかに大きな建物で、建物の基礎に礎石を使う強固な構造の建物跡です。7号、8号の周囲からは、多量の炭化米が出土し、建物が火事で燃えたことがわかります。



6号礎石建物跡（西から）

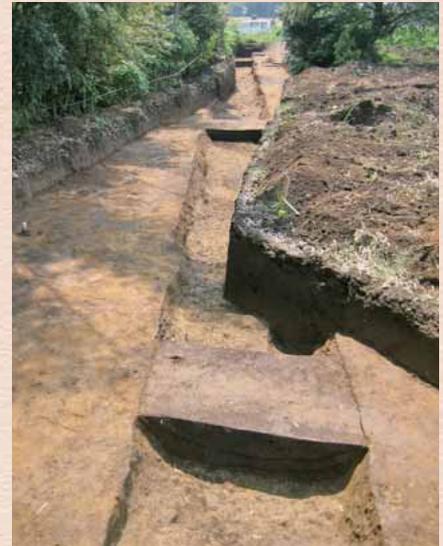


くぼばたいせき すいていとうさんどうえきろ 久保畑遺跡・推定東山道駅路



- 調査場所 太田市寺井町地内
- 調査期間 平成20年4月30日～6月13日
- 調査面積 約1,100㎡

調査地点の南部で、東西方向に走る道路遺構を検出しました。この遺構は南北に側溝を持ち幅10m前後の路面幅を持つ遺構で、東山道駅路（牛堀・矢ノ原ルート）と推定されます。側溝から7～8世紀の土器が出土しており、道路遺構の年代を知るうえで貴重な資料となりました。道路遺構の北部では、7世紀から9世紀の竪穴住居跡が検出されています。遺構の密度は高く、住居跡が重複する部分も多く見られました。



東山道駅路南側溝



東山道駅路北側溝



その袖にカメを使ったカマド



はまちょういせき 浜町遺跡



- 調査場所 太田市浜町地内
- 調査期間 平成20年11月17日～平成21年2月3日
- 調査面積 約850㎡

太田駅周辺土地区画整備事業に伴って実施した発掘調査で、古墳時代～平安時代の住居跡16軒、

中世から近世の溝10条・土坑26基・井戸2基・ピット19基を調査しました。

特に注目されるのが、棚状施設を持つ平安時代の住居跡が検出されたことです。また、戦国時代の環濠状遺構のものと推定される溝が検出できたことです。



環濠状遺構群の溝(北西から)



棚状施設を持つ住居跡(北から)



しもたじまいせき
下田島遺跡



- 調査場所 太田市下田島町地内
- 調査期間 平成20年9月24日～9月30日
- 調査面積 約85㎡

ほうせんなんぶとちくかくせいりじぎょう
宝泉南部土地区画整理事業に伴う発掘調査で、
調査面積は少なかったのですが、古墳時代の住居
跡5軒、中世から近世の土坑6基が検出されまし
た。



下田島遺跡の全景（東から）



みやまえいせき
宮前遺跡



- 調査場所 太田市飯塚町地内
- 調査期間 平成20年8月18日～9月12日
- 調査面積 約324㎡

古墳時代の溝、奈良時代～平安時代の掘立柱建物跡5棟、中世から近世の溝などが発見されました。このうち、中世から近世の溝は、上幅2mの大規模な遺構で、館跡の一部あるいは用水路として使われた可能性があります。遺物としては、1号溝から出土した五輪塔の空風輪や火輪、掘立柱建物跡から出土した奈良時代の土器、2号溝から出土した土器などが特徴的な遺物です。



宮前遺跡の全景（北から）



にしのはらいせき きたかんとうじどうしゃどうそくどうせいびじぎょう
西野原遺跡（北関東自動車道側道整備事業）



- 調査場所 太田市西長岡町・藪塚町地内
- 調査期間 平成21年2月2日～2月27日
- 調査面積 約80㎡

西野原遺跡は、縄文時代から近世にいたる人々の生活のあとが残された遺跡です。今回の発掘調査は、この遺跡の南端部分で実施される北関東自動車道側道整備事業に先立ちおこなわれました。この調査では、中世の掘立柱建物跡1軒、時期不明の土坑4基、時期不明のピット2基を調査しました。



西野原遺跡の調査風景（西から）



げんちせつめいかい 現地説明会



- 日時 平成21年1月24日（土）
- 場所 太田市天良町地内ほか
- 遺跡名 史跡上野国新田郡庁跡
天良七堂遺跡（国史跡指定地の西部）
- 参加者 774名

今年度は、「史跡上野国新田郡庁跡」と「国史跡指定地の西部」の2地点の現地説明会を同時に行ないました。寒い日にもかかわらず、700名を超す多くの方々に参加していただき、新田郡衙の建物跡を見学していただきました。



石敷き道路の説明の様子（南から）



郡庁跡正殿の説明の様子（東から）



まいどうぶんかざいさいしんじょうほうてん おおたしとうぶかいたくしゃむら 埋蔵文化財最新情報展「太田市東部の開拓者の村」



- 開催期間 平成21年2月17日（火）
～2月22日（日）
- 会場 休泊行政センター
（龍舞町）
- 来場者 393名

最近発掘をした遺跡の内容や出土品を紹介する埋蔵文化財最新情報展を開催しました。

今回は、平成19年1月30日～平成19年7月31日まで調査を行った塚井遺跡で発見された土器や石製品、住居跡・溝・井戸などの写真パネルを展示しました。

来場された方は、ほぼ完全な形で出土した土器や勾玉などの石製品に注目していたようです。

職員の解説に熱心に聞き入る方も多く、地元でみつかった遺跡への関心の高さがうかがえました。



塚井遺跡で出土した古墳時代の土器



熱心に土器を見る見学者

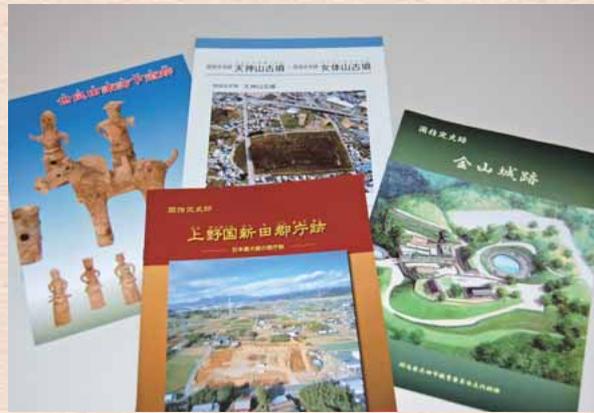
出土遺物整理作業

文化財課では、発掘調査の成果を公開するために、出土した土器の接合・復元作業を行ったり、復元した土器の実測・写真撮影等を行い、発掘調査報告書の作成等を行っています。

平成20年度は、前年度からの継続事業として実施している強戸口遺跡群や今井地区遺跡群、塚井遺跡、太田市内遺跡の整理を実施しました。

発掘調査報告書としては、「太田市内遺跡4」、「天神山古墳外堀」、「強戸口遺跡群」「塚井遺跡」「尾島工業団地遺跡」を刊行しました。

また、普及事業として「国指定史跡上野国新田郡跡」「国指定史跡金山城跡」「国指定史跡天神山古墳・女体山古墳」「世良田諏訪下遺跡」のパンフレットを刊行しました。



刊行したパンフレット

確認調査

No.	遺跡名	所在地(太田市)	確認調査月	原因者	No.	遺跡名	所在地(太田市)	確認調査月	原因者
1	向野遺跡	高林東町	H20.4	民間	36	鳥山下遺跡	鳥山中町	H20.9	民間
2	上野井遺跡	新田村田町	H20.4	民間	37	東部地区遺跡群	岩松町	H20.9	民間
3	川窪遺跡	藤阿久町	H20.4	民間	38	内ヶ島古墳群	内ヶ島町	H20.9	民間
4	久保畑遺跡	寺井町	H20.4	市	39	高林西原古墳群	高林西町	H20.9	民間
5	満所遺跡	石原町	H20.4	民間	40	金山城縄張り	長手町	H20.10	民間
6	鳥之郷小学校予定地	鶴生田町	H20.5	市	41	西野西遺跡	藪塚町	H20.10	民間
7	登戸遺跡	新田上江町	H20.5	民間	42	FP泥流下遺跡群	亀岡町	H20.10	市
8	新野古墳群	新野町	H20.5	民間	43	細谷中遺跡	細谷町	H20.10	民間
9	舞台C遺跡	藤阿久町	H20.5	民間	44	要害遺跡	新田反町町	H20.10	民間
10	古戸赤城遺跡	古戸町	H20.6	民間	45	小舞木遺跡	小舞木町	H20.11	民間
11	向野遺跡	高林東町	H20.6	民間	46	花園遺跡	新田木崎町	H20.11	民間
12	岩瀬川古墳群	福沢町	H20.6	民間	47	富沢古墳群	富沢町	H20.11	民間
13	下小林館跡	下小林町	H20.6	民間	48	高林西原古墳群	高林西町	H20.11	民間
14	中原上遺跡	藪塚町	H20.6	民間	49	福沢新田遺跡	福沢町	H20.12	民間
15	細谷中遺跡	細谷町	H20.6	民間	50	八石遺跡	藪塚町	H20.12	民間
16	天神山古墳	内ヶ島町	H20.6	民間	51	FP泥流下遺跡群	岩松町	H20.12	民間
17	稲荷宮遺跡	矢場町	H20.6	民間	52	宮内遺跡	浜町	H20.12	市
18	天良七堂周辺遺跡	天良町	H20.6	民間	53	小谷場古墳群	牛沢町	H20.12	民間
19	中江田原遺跡	新田中江町	H20.6	民間	54	由良城跡・天狗林遺跡	由良町	H21.1	民間
20	家前遺跡	岩瀬川町	H20.6	民間	55	北明泉寺遺跡	飯塚町	H21.1	民間
21	天良七堂周辺遺跡	天良町	H20.6	民間	56	清川遺跡	由良町	H21.1	民間
22	境ヶ谷戸遺跡	新田市野井町	H20.6	民間	57	賀茂遺跡	龍舞町	H21.1	民間
23	富沢古墳群	富沢町	H20.7	民間	58	猿楽遺跡	只上町	H21.2	民間
24	宮前遺跡	飯塚町	H20.7	民間	59	下原遺跡	新野町	H21.2	民間
25	堂原遺跡	脇屋町	H20.7	民間	60	石橋地藏久保遺跡	石橋町	H21.2	市
26	新野古墳群	新野町	H20.7	民間	61	本矢場城跡	矢場町	H21.2	民間
27	東別所遺跡	飯塚町	H20.7	民間	62	相方遺跡	植木野町	H21.2	民間
28	舞台A・D遺跡	西本町	H20.7	民間	63	中道遺跡	鳥山上町	H21.2	民間
29	北之庄遺跡	由良町	H20.7	民間	64	堂原遺跡	脇屋町	H21.2	民間
30	宮内・浜町遺跡ほか	浜町	H20.8	市	65	今井地区遺跡群	世良田町	H21.2	民間
31	賀茂遺跡	龍舞町	H20.8	民間	66	飯塚条里制水田跡	飯塚町	H21.3	民間
32	FP泥流下遺跡群	亀岡町	H20.8	民間	67	FP泥流下遺跡群	尾島町	H21.3	民間
33	星ノ宮遺跡	東長岡町	H20.8	民間	68	東矢島古墳群	高林寿町	H21.3	民間
34	下田島遺跡	下田島町	H20.8	市	69	川窪遺跡	藤阿久町	H21.3	民間
35	延享割遺跡	泉町	H20.8	民間					

開発にかかわる調整

平成20年度 事前協議・照合件数および調査面積

内容	公共事業	民間事業	計
事前照合・協議	52件	1,140件	1,192件
本発掘調査	5件	1件	6件
確認・試掘調査	7件	62件	69件
学術調査	4件	0件	4件
立会調査	8件	17件	25件
慎重工事	1件	144件	145件
確認・試掘調査面積	653㎡	2,951㎡	3,604㎡
立会調査面積	80㎡	328㎡	408㎡
本調査面積	2,205㎡	324㎡	2,529㎡
学術調査面積	4,238㎡	0㎡	4,238㎡





世良田祇園屋台修復事業

世良田祇園は、江戸の神田明神祭り・秩父の妙見祭りとならび、関東三大祭の一つとして賑わいを誇り、古くから庶民に親しまれてきた祭りです。

なかでも、彫刻・透かし彫り・彩色は施されている屋台は、祭りの華として毎年巡行されていますが、江戸時代後期に製作された屋台が多く、各部材の傷みがひどい状況にあるため、平成18年度から修復事業を始めました。

上町・上新田・今井・新町・大門・南八・下町・下新田の8台の屋台のうち、平成20年度では大門・下新田の2台の修復が完了しました。

今回、修復された2台は、いにしへの鮮やかな色彩をとりもどし、祇園祭りに訪れた方々の目をひいていました。



大門の屋台彫刻（修復前）



大門の屋台彫刻（修復後）



世良田下新田の屋台（解体中）



下新田の屋台彫刻（修復後）



世良田祇園大門の屋台（修復後）



世良田祇園下新田の屋台（修復後）

文化財模擬火災訓練

1月26日は「文化財防火デー」です。

昭和24年のこの日、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺金堂が炎上し、壁画が焼損しました。このことから昭和30年に「文化財防火デー」が定められ、毎年この日を中心に全国各地で文化財防火運動が展開されています。

太田市でも平成21年1月25日に大原町の全性寺境内で「文化財模擬火災訓練」を実施しました。

訓練は、午前8時に全性寺本堂より出火という設定で開始。消防本部・西部消防署等の指導、関係者・地元住民の協力のもと、初期消火作業、文化財の持ち出し、消防車の出動、怪我人の救出、一斉放水等のすべての訓練が適切に実施されました。



一斉放水の様子



高山彦九郎記念館

高山彦九郎記念館講演会

- とき 平成20年6月8日（日）
午後3時～午後4時30分
- ところ 太田市商業高校 文化棟ホール
- 講師 澤口 宏 先生
- 演題 「高山彦九郎の船旅と利根川東遷」
- 参加者 147名

高山彦九郎は日本諸国を遊歴し、道中、先々で詳細な日記を残しており、その「旅日記」は貴重な資料となっています。

1775年（安政4年）7月に、彦九郎は船で、出来島河岸から利根川をくだり、江戸日本橋へ渡ったという旅日記があり、今回は、高山彦九郎の船旅と利根川の東遷について、群馬大学非常勤講師・澤口宏先生にご講演いただきました。

彦九郎の船旅のルート・利根川の水運と川船・利根川の東遷と目的・権現堂川の起源等のお話から、高山彦九郎の船旅の情景と利根川の歴史・江戸幕府による利根川の東遷の意義を理解いただけたと思います。



高山彦九郎記念館学習会

- ▶学習会
- とき 平成20年8月23日（土）
- ところ 高山彦九郎記念館
- ▶視察
- とき 平成20年9月4日（木）
- ところ 妻沼聖天宮・大杉神社（熊谷市）、鷺宮神社（鷺宮町）、千葉県立関宿城博物館（野田市）ほか

今回は、平成19年度、あらたに確認された高山彦九郎の真蹟日記『利根路の秋旅』を読み解き、

彦九郎の足跡を訪ねました。

はじめに『利根路の秋旅』の中にも描かれている熊谷市の「妻沼聖天宮」と「大杉神社」をめぐつた後、鷺宮町の「鷺宮神社」や利根川の水運の歴史を紹介する千葉県野田市の「関宿城博物館」を見学しました。

また千代田町の赤岩河岸から対岸の葛和田河岸（熊谷市）を結ぶ赤岩渡船（県道83号線）に乗船、参加者は利根川を渡りながら彦九郎の旅路に思いをはせているようでした。



赤岩渡船（赤岩河岸側）



関宿城博物館にて



高山彦九郎記念館案内

- 開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
- 休館日：●月曜日（休日に当たる場合は翌日）
●年未年始（12月29日～1月3日）
- 入館料：個人100円 団体80円（20名以上）
※中学生以下は無料となります。
- 交通のご案内
 - 東武伊勢崎線細谷駅下車徒歩10分（800m）
 - 東武伊勢崎線太田駅下車タクシー10分（5km）
- 駐車場：普通車23台（バスも駐車可能）



高山彦九郎は上野国新田郡細谷村（現太田市細谷町）で生まれた江戸中期の勤王思想家で、後世の明治維新を導いた幕末の志士たちに大きな影響を与えた人物です。

江戸・京都・細谷（現太田市）を拠点として全国各地を遊歴し、学者・文化人だけでなく、公家や諸国の藩主・武士・神官・農民など様々な人々と交流しました。

彦九郎の思想と情報は、地域や階層を越えて伝わり、日本の歴史を動かす原動力ともなりました。

この記念館は、高山彦九郎を再評価し、その人物像を広く知っていただくため、平成8年5月3日に、国指定史跡・高山彦九郎宅跡附遺髪塚の隣接地に開館しました。

藪塚本町歴史民俗資料館

藪塚本町歴史民俗資料館案内

- 開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
- 休館日：●月曜日（休日に当たる場合は翌日）
●年未年始（12月29日～1月3日）
- 入館料：個人100円 団体80円（20名以上）
※中学生以下は無料
- 住所：〒379-2301 太田市藪塚町149
- TEL：0277-78-5728



当館は、藪塚温泉今井館主であった今井新次氏が、県内外から収集した埋蔵文化財などを旧藪塚本町に寄贈したことにより、昭和53年に開館しました。

石田川式の型式資料となった土器や街道橋古墳の陶棺、市内から出土した各種埴輪、その後の発掘調査で出土した石之塔遺跡（縄文時代後・晩期）の土製耳飾や岩版のほか養蚕関係を中心とした民具を展示しています。

現在、常設展示の一部を変更し、「天神山古墳関係資料」を展示しております。また「太田市の古墳」紹介映像を上映しております。

入館された方にはご希望により、最新の発掘調査成果に基づく「上野国新田郡庁跡パンフレット」ほか各種パンフレット等を差し上げています。以前入館された方も再度、入館されてはいかがでしょうか。



朝子塚古墳の空撮



縁切寺満徳寺資料館

縁切寺満徳寺資料館 徳川大学公開講座

資料館では一般市民を対象とした公開講座に所在地名「徳川」を冠して、徳川大学として実施しています。講座のテーマは江戸時代と男女同権です。

第1回 公開講座

- とき 平成20年5月11日（日）
午後2時開演
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂
- 講師 法政大学講師・学術博士
小泉吉永先生
- 参加者 42名
- 演題 「江戸の子育て—その思想に学ぶ—」



小泉吉永先生

第2回 大衆文化講座 落語

- とき 平成20年5月22日（木）
午後6時30分開演
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂
- 演者・演目
柳亭市朗さん「やかん」
柳亭市馬師匠「高砂や」「らくだ」
- 参加者 123名



柳亭市朗さん



柳亭市馬師匠

第3回 公開講座

- とき 平成20年6月1日（日）
午後2時開演
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂

- 講師 縁切寺満徳寺資料館長
高木 侃
- 参加者 45名
- 演題 「世界に二つの縁切寺」

第4回 公開講座

- とき 平成20年10月5日（日）
午後2時開演
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂
- 講師 縁切寺満徳寺資料館長
高木 侃
- 参加者 23名
- 演題 「世界に二つの縁切寺II」



高木 侃館長

第5回 公開講座

- とき 平成20年10月19日（日）
午後2時開演
- ところ 世良田行政センター
- 講師 茨城キリスト教大学教授
森 謙二先生
- 参加者 72名
- 演題 「お墓とお葬式の話」



森 謙二先生



第6回 伝統文化講座 琵琶

- と き 平成20年11月6日(木)
午後6時開演
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂
- 演者 薩摩琵琶錦心流中谷派 荒井姿水先生
仲林光子先生
畠山千恵子先生
- 参加者 155名
- 演目 「夢幻」「行基さま」「船弁慶」ほか



荒井姿水先生(左) 仲林光子先生(右)

第7回 大衆文化講座 落語

- と き 平成20年11月29日(土)
午後1時30分開演
- ところ 宝泉行政センター
- 演者・演目 柳家はん治師匠「妾馬」
「背なで老いてる唐獅子牡丹」
柳家喬太郎師匠「金明竹」「擬宝珠」
- 参加者 210名



柳家はん治師匠



柳家喬太郎師匠

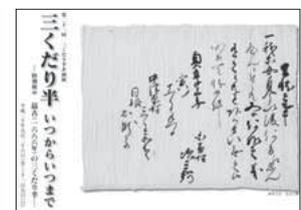
特別展・三くだり半企画展

平成20年度開催企画展

資料館では、春秋年2回企画展を行っています。かつて縁切寺であったことから「三くだり半」をテーマとした企画展をこれまでに21回、特別展を10回開催しました。

- 特別展「江戸の子育て」—その思想に学ぶ—
期間 平成20年4月26日(土)～6月8日(日)
延べ入館者 1,419人

- 第21回三くだり半企画展
「三くだり半 いつからいつまで」
—特別展示 最古(1686年)の三くだり半—
期間 平成20年9月26日(金)～11月9日(日)
延べ入館者 1,838人



資料館主催講座 (講師：縁切寺満徳寺資料館長 高木 侃)

ボランティアガイド養成入門講座

- と き 平成20年6月5日(木)、19日(木)、
7月3日(木)
午後2時から
- ところ 縁切寺満徳寺資料館館長室
- 参加者 8名

三くだり半連続講座

- と き 平成20年10月2日(木)、16日(木)、
30日(木)
午後2時から
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂、世良田行政センター
- 参加者 延べ35名



友の会主催

「狂言の夕べ」・「東慶寺見学会」

●復元本堂で平成7年から「狂言の夕べ」を主催してきました。1回目は和泉流の和泉元秀・元弥師、3回目以降は山本東次郎師の至芸を堪能して、12年を迎えました。本年は平成20年10月10日（金）、演目は「鈍太郎」「音曲賀」「舟船」の3曲のほか、東次郎師による絵解き（解説）がありました。



狂言 音曲賀

●平成21年3月4日（水）44名の参加をえて、縁切寺として名高い鎌倉東慶寺の見学会を催しました。東慶寺では墓域と宝蔵を見学。また、東慶寺住職の計らいにより、普段は入ることができない寒雲亭を特別拝観することができました。



宝蔵を見学する参加者のみなさん

縁切寺満徳寺資料館案内



復元された本堂

縁切寺は江戸時代夫の不法に泣く女性を救済して、夫との離婚を成立させる避難所（アジール）でした。最終的に幕府（国家）権力を直接の後ろ盾として離婚を強制する制度はほかにありません。ですから満徳寺は鎌倉の東慶寺とともに「世界に2つの縁切寺」だったのです。旧尾島町ではその文化的・歴史的意義を高く評価して、資料館とその後本堂を復元、旧境内を整備しました。

桜の開花に合わせてライトアップを行っています。期間中は、駆け込み門を開放し、抹茶接待も



行います。（詳細は資料館にお問い合わせください）

- 開館時間：9:30～17:00
（入館は16:30まで）
- 休館日：月曜日（休日に当たる場合は翌日）
年未年始（12月29日～1月3日）
- 入館料：個人200円 団体160円（20名以上）
※中学生以下は無料となります
- HP <http://www8.wind.ne.jp/mantokuji>